

ライフスタイル改善の実践と評価

Errata 20160302

P9 図 1.3 の右側対照群の 2 つ目の四角の 3 行目

リーフレットと ⇒ リーフレットの

P14 2 段目と 4 段目の真ん中の四角のなか、および本文 下から 2・3 行目：

メトフォルミン ⇒ メトホルミン

P23 下から 3 行目 *Diabetes Care* ⇒ *Diabetes Care* 誌

P56 上から 5 行目 表 2.4 ⇒ 表 2.3

P98 上から 9 行目 足立のインスリン 2 型糖尿病患者 ⇒ 「インスリン」を削除

P111 表 3.4 のタイトル 開始時点での ⇒ 開始時点からの

P119 上から 8 行目 標準誤差 SE ⇒ 95%信頼区間

P123 下から 11 行目 (表 2.4) ⇒ (表 2.8)

P138 04 出力結果の中の ⑨ ⇒ ⑧、⑩ ⇒ ⑨

P139 上から 6 行目 (-0.5%, p=0.000) (⑧) ⇒ (-0.5%, p 7=0.004) (⑦)

P143 図 4.3 の脚注として補足

箱ヒゲ図の表示方法は様々あり、ヒンジ{ (Q3-Q1) × 1.5}以内の最近値までヒゲを描き、それ以上に Q3 または Q1 から外れたものを○などの記号で表示する方法がよく用いられる。

P155 10 行目 2)の部分 XAnA ⇒ $X_{A_{n_A}}$ 、XBnB ⇒ $X_{B_{n_B}}$

P156 (4.15)式 Y_{ij} ⇒ y_{ij}

P157 χ^2 の式の分子の(N/2) ⇒ N/2 ()を削除

P175 5 行目と 9 行目の $p(x)$ ⇒ x を bold

P176 式 4.26 $\lambda(t,x)$ ⇒ x を bold

P180 上から 2 行目 [3](2.8 節) ⇒ 成書[3](2.8 節)

P188 第 3 段落 WEB ページに朝倉のアドレスを加える

P197 上から 7 行目 空き過ぎていない ⇒ 短すぎない、長すぎない

P208 最終行から 3 行目 担当管理士 ⇒ 担当管理栄養士

P210 7 (2) 副次的評価項目 3 行分を下記と差し替える

⇒ 体格(BMI)、血圧、空腹時血糖値、空腹時血清脂質 (LDL、HDL および TG)、エネルギー、栄養素摂取量(1 日・食事別) および脂質エネルギー比の変化とする。

P210 8 (1)患者背景 4 行目 生活活動強度 ⇒ 身体活動レベル

(4) 食生活状況の経時変化 栄養アセスメント票

⇒ 栄養アセスメント票 (アセスメント項目の変化)

(5) 栄養教育実施状況 隨時、面談日… 以下を下記と差し替える

⇒ 栄養アセスメント票 (面談日、設定目標、達成確認等)

(8) 血圧測定 ⇒ 血圧

P212 4) 背景因子の解析 「年齢。。。適用する」の 4 行分を下記に差し替える

⇒ 年齢、性別、合併症(有無)、家族歴(有無)、服薬(有無)、運動習慣(有無)、喫煙習慣(有無)、飲

酒習慣(有無)については背景因子と考えるが、両群の差の検定は行わない。

P213 式(2) の「+ +」 ⇒ 「+」 (+を1つ削除)

P213 下から8行目 HbA1c6.5%未満 ⇒ HbA1c6.5% (JDS) 未満

P214 上から1行目 体格、空腹時血糖値、ウエスト周囲径 ⇒ 体格、

P25 図 1.10 試験のアウトライン図→下図の差し替え

